

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)

【公表番号】特表 2016-522863 (P2016-522863A)  
 【公表日】平成 28 年 8 月 4 日 (2016.8.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-046  
 【出願番号】特願 2016-513486 (P2016-513486)  
 【国際特許分類】

**D 0 1 F      6/18      (2006.01)**

【F I】

D 0 1 F      6/18      B

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 26 日 (2017.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリ(シアノアクリレート)のマイクロまたはナノファイバーの製造方法であって、  
 - シアノアクリレートモノマーを双極性非プロトン溶媒と混合して、ポリ(シアノアクリレート)ゲルを形成し；  
 - 電界紡糸に適した溶液を形成することに適した、アクリレート用溶媒に前記ゲルを溶解し、および、  
 - 得られた溶液に電界紡糸を行い、マイクロまたはナノファイバーを形成する  
 ステップを含むことを特徴とする、製造方法。

【請求項 2】

前記双極性非プロトン溶媒が、ジメチルスルホキシド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、N-メチル-2-ピロリドンまたはそれらの混合物からなる群より選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記双極性非プロトン溶媒およびシアノアクリレートモノマーが 0.1 : 1 から 2 : 1 の比率で混合されることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

アセトニトリル、アセトン、塩素化炭化水素溶媒および C<sub>1</sub> - C<sub>4</sub> カルボン酸ならびにそれらの混合物からなる群より選択される溶媒に前記ポリ(シアノアクリレート)ゲルを溶解することを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記双極性非プロトン溶媒がジメチルスルホキシドであり、かつ、ゲルを溶解する電界紡糸用の溶媒がアセトンおよびアセトニトリルから選択されることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記シアノアクリレートモノマーが C<sub>1</sub> - C<sub>8</sub> アルキル-シアノアクリレートであることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

ポリ(シアノアクリレート)のポリマー性コーティングの製造方法であって、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の方法によるマイクロまたはナノファイバーの製造、かく得

られたマイクロまたはナノファイバーの基板上への被着および、基板に接着するコーティングを形成するために前記マイクロまたはナノファイバーを融解するのに適した温度にて、基板に被着した前記マイクロまたはナノファイバーに対する熱処理の付与を含むことを特徴とする、方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法により得ることができるポリ（シアノアクリレート）のコーティング層。

【請求項 9】

コーティング層が請求項 7 に記載の方法により得られた、ポリ（シアノアクリレート）のコーティング層でコーティングされた基板。